

従業員の「幸せ」が、地域を豊かにする最高のスパイスです

私たちは「おいしいもの、いいものだけを」というスローガンのもと、地域の皆様の食卓を支えておりますが、その原動力となっているのは、他でもない「現場で働く従業員一人ひとり」です。

私が経営者として最も大切にしているのは、「全従業員の物心両面の幸福」という理念です。これは、単にお給料をお支払いすればいいという話ではありません。経済的な安定はもちろんのこと、仕事を通じて「ここに居場所がある」「自分が誰かの役に立っている」という心の豊かさを実感してほしい。そのためには、土台となる「健康」が絶対条件なのです。

なぜ、今「健康経営」なのか

私たちは現在、健康経営を単なる福利厚生ではなく、「経営戦略の核心」と位置づけています。

正直に申し上げます。弊社にも課題はあります。特に、店舗数の拡大に伴うメンタルヘルスのケアや、若手社員の安全意識の向上は、今まさに取り組むべき急務です。だからこそ、私は「頑張れ」という精神論ではなく、具体的な数値目標を掲げました。

- **メンタルケアの徹底**：セルフケア教育の理解度 100%を目指し、心が折れる前に支え合える体制を構築します。
- **若手の成長を支える**：入社 2～5 年目の衛生管理者資格の保有率を 30%まで引き上げます。これは、自分と仲間の身を守る「プロとしての自覚」を持ってほしいという親心でもあります。
- **「動く・食べる」のサポート**：提携ジムの活用や特定保健指導を通じて、従業員が 10 年、20 年先も元気に働ける体作りを会社がバックアップします。

数字は嘘をつきません

現在、正社員の有給休暇取得率は 80%に達し、平均残業時間も着実に減少しています。従業員がしっかりと休み、心にゆとりを持って笑顔で店頭に立つ。その笑顔が、お客様への「安全・安心な商品提供」という最高のサービスに直結すると確信しています。

私たちが目指す未来

従業員が「カネスエで働いていて、心も体も健やかになった」と胸を張って言える会社にすること。それが実現したとき、結果として地域の皆様へ、より高品質で健康的な食生活をお届けできるはずです。

カネスエはこれからも、従業員とともに歩み、地域の皆様に愛される「健康な企業」であり続けることを約束いたします。

株式会社カネスエ 代表取締役社長
牛田喜博